

遠野市地球温暖化対策実行計画
平成 22 年度実績報告

平成 24 年 2 月

1. 遠野市地球温暖化対策実行計画の取り組み

(1) 概要

この計画は地球温暖化の防止を図るため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「ふるさと遠野の環境を守り育てる基本条例」の趣旨を踏まえて、平成19年3月に策定し、同年4月から取り組みを進めています。

(2) 計画の期間と目標

基準年度を平成15年度とし、平成19年から平成22年度までの4年間としています。平成22年度の二酸化炭素の排出量を8%削減します。

(3) 対象とする範囲

①対象とする活動

市の全ての事務及び事業の実施に伴う活動とします。ただし、市から委託されて施設管理等の業務を行っている委託業者に対しては協力を求めることとします。

②対象とする温室効果ガス

二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンの4種類とします。このうち、温室効果ガス排出量割合の94.7%を占める二酸化炭素の削減に直接貢献する項目について、数値目標を定め、施設を設定して全体の取り組みを進めます。

対象外施設

各地区センター、各小中学校、各保育所

(4) 取り組み項目

温室効果ガス削減のための数値目標を掲げた項目を重点項目とします。

- ・ 電気の使用量の削減
- ・ 燃料設備における燃料使用量の削減
- ・ 公用車燃料使用量の削減

このほか、温室効果ガス削減につながる配慮項目として、可燃ごみ排出量の削減や廃棄物リサイクル率の向上などにも取り組みます。

2. 平成 22 年度活動量について

(1) 活動量実績

平成 22 年度の市の事務事業に伴う温室効果ガスの総排出量は、**5,761,884 kg-CO2** となり、平成 15 年度に対し排出量は下回りました。

構成では、電気使用量が全体の 69.3% で、燃料設備における燃料使用量の A 重油、灯油、LP ガスが 26.0%、公用車燃料使用量のガソリン、軽油が 4.7% です。

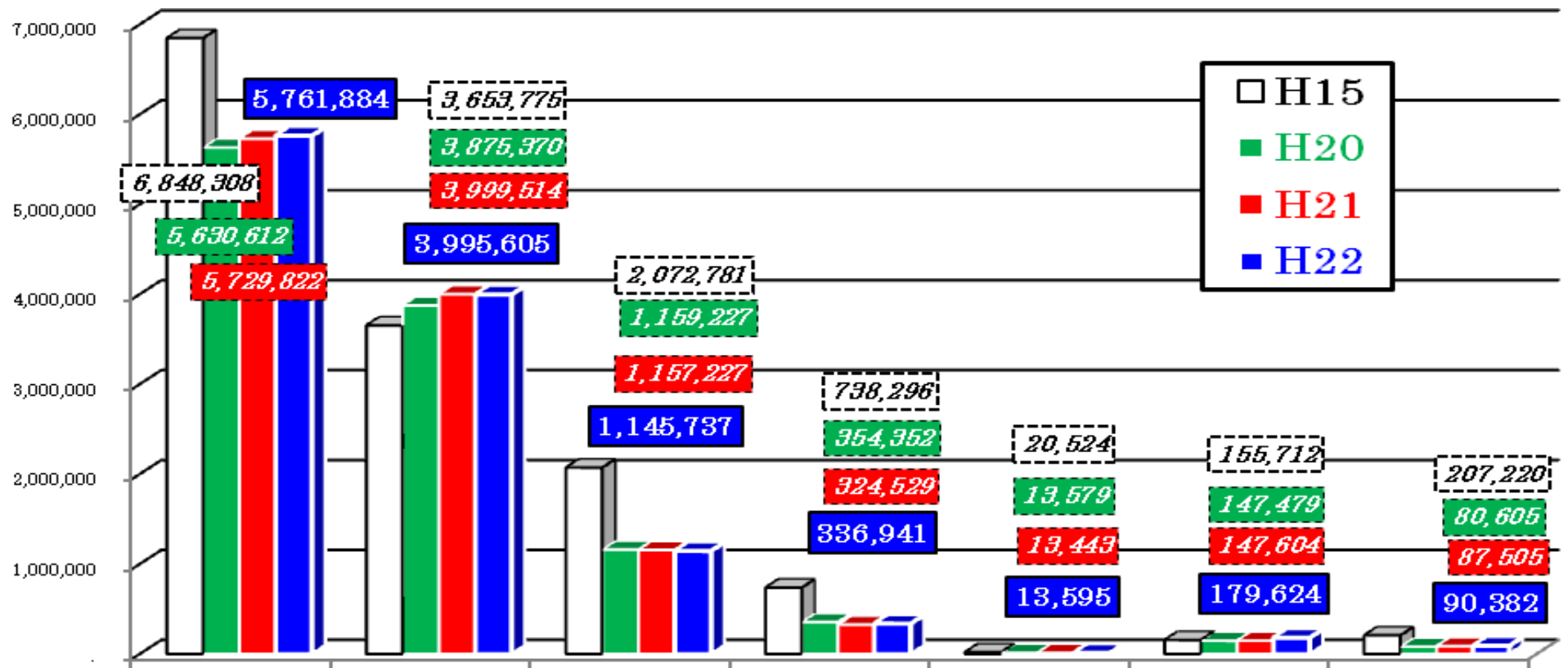
基準年の平成 15 年に対し、電気使用量が 9.4%、ガソリン使用料が 15.4% 上回る排出量でした

「温室効果ガス排出状況」

(単位：kg-CO2)

項 目	平成 15 年度 排出量 (基準年)	平成 20 年度 排出量	平成 21 年度 排出量	平成 22 年度		平成 22 年度 目標値 (目標年)	
				排出量	15 年度比 増減率		
二酸化炭素	6,848,308	5,630,612	5,729,822	5,761,884	△15.9%	6,300,443	
電気使用量の削減	※3,653,775	3,875,370	3,999,514	3,995,605	9.4%	3,361,473	
燃料設備における 燃料使用量の削減	A 重油	2,072,781	1,159,227	1,157,227	1,145,737	△44.7%	1,906,958
	灯油	738,296	354,352	324,529	336,941	△54.4%	679,232
	LP ガス	20,524	13,579	13,443	13,595	△33.8%	18,883
公用車燃料使用量 の削減	ガソリン	155,712	147,479	147,604	179,624	15.4%	143,255
	軽油	207,220	2,380,650	87,505	90,382	△56.4%	190,642

※計画策定時の二酸化炭素排出係数が変更になったため再計算した数値。

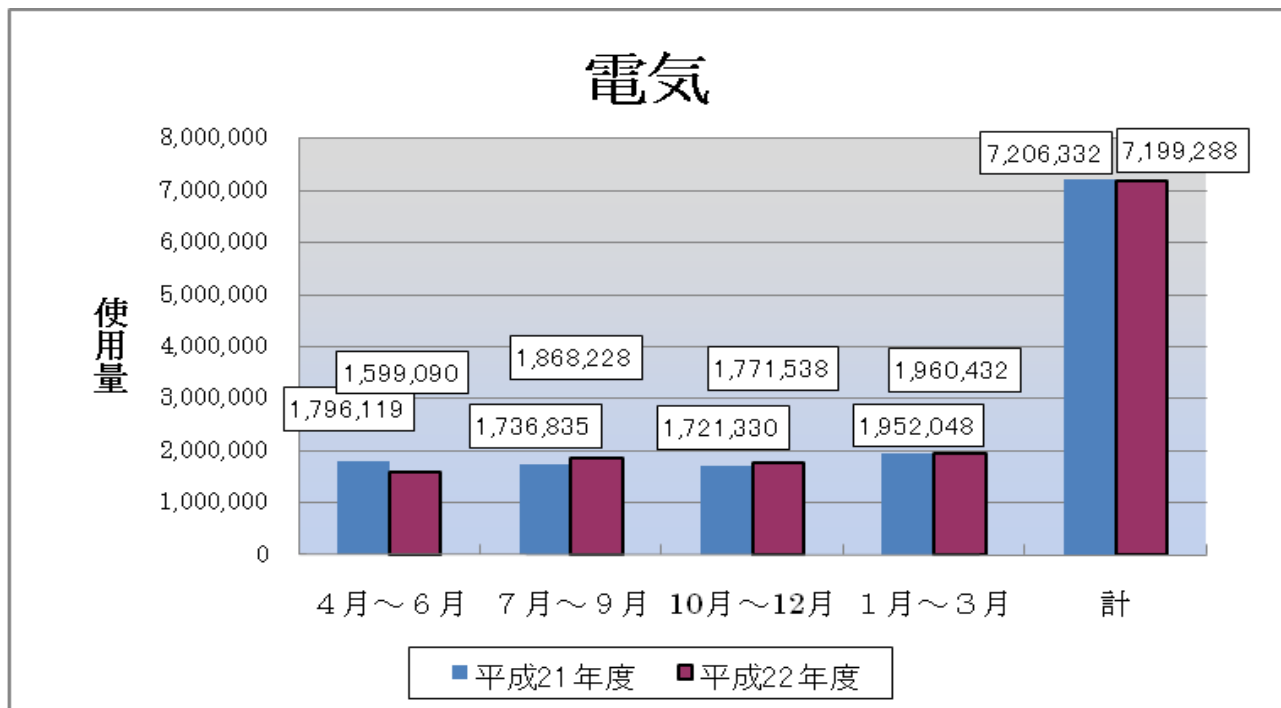


15年度比	△15.9%	9.4%	△44.7%	△54.4%	△33.8%	15.4%	△56.4%
20年度比	2.3%	3.1%	△1.2%	△4.9%	△0.1%	21.8%	△96.2%
21年度比	0.6%	△0.1%	△1.0%	3.8%	1.1%	21.7%	3.3%

エネルギー別四半期ごとの使用量

① 電気の使用量（市の温室効果ガス排出量全体の69.3%）

前年度比 0.1%減



○前年度比で増減率の高い施設

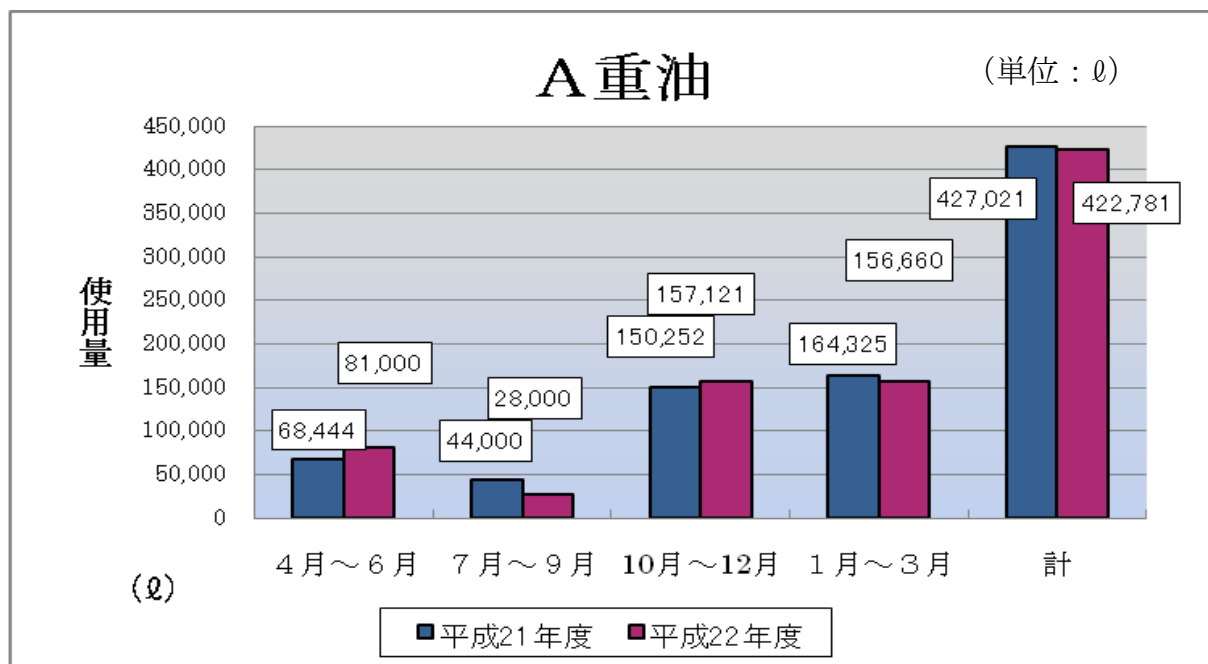
	施設名	前年比	全体割合	電気使用の内容など
増	文化課	73.9%	4.9%	前年度の改修による使用減から、今年度施設を全使用したための暖房等の使用量の増
減	下水道	△24.1%	13.1%	施設稼働見直しによる節電。

○使用量の大きい施設

	施設名	前年比	全体割合	電気使用の内容など
1	清養園 クリーンセンター	△0.7%	41.1%	こまめな節電に努めた。
2	水道	4.4%	14.5%	一般家庭、事業者等の水道水利用量増による
3	下水道	△24.1%	13.1%	施設稼働見直しによる節電。
4	地域生活課	10.5%	19.3%	市民センター利用件数の増加による
5	管理情報課	10.2%	6.7%	東館使用課の一部が合同庁舎に移転し、合庁での照明器具の量が増えたことによる。

② A 重油の使用量

前年度比 1.0%減



○前年度比で増減率の高い施設

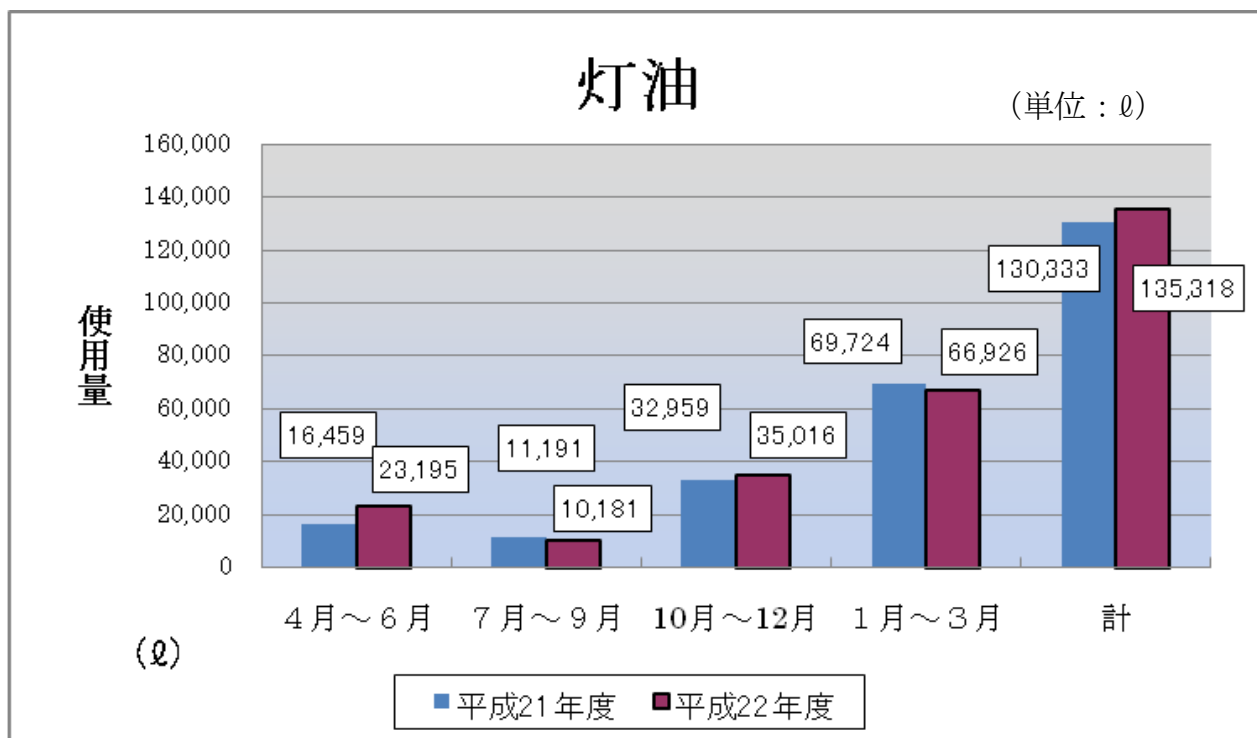
	施設名	前年度比	全体割合	A 重油使用の内容など
増	地域生活課	18.8%	43.3%	施設利用件数の増
減	福祉課	△16.7%	14.2%	不要時の暖房の停止により、減少した

○使用量の大きい施設

	施設名	前年度比	全体割合	A 重油使用の内容など
1	地域生活課	18.8%	43.3%	利用件数の増
2	遠野給食センター	△2.6%	18.0%	こまめな節約を行った
3	福祉課	△16.7%	14.2%	不要時の暖房の停止により、減少した
4	管理情報課	0%	9.9%	こまめな暖房の調整により、増加を抑えた
5	清養園 クリーンセンター	△21.6%	6.9%	水分量の多いごみ減少による補助燃料の減等

③ 灯油の使用量

前年度比 3.8%増



○ 前年度比で増減率の高い施設

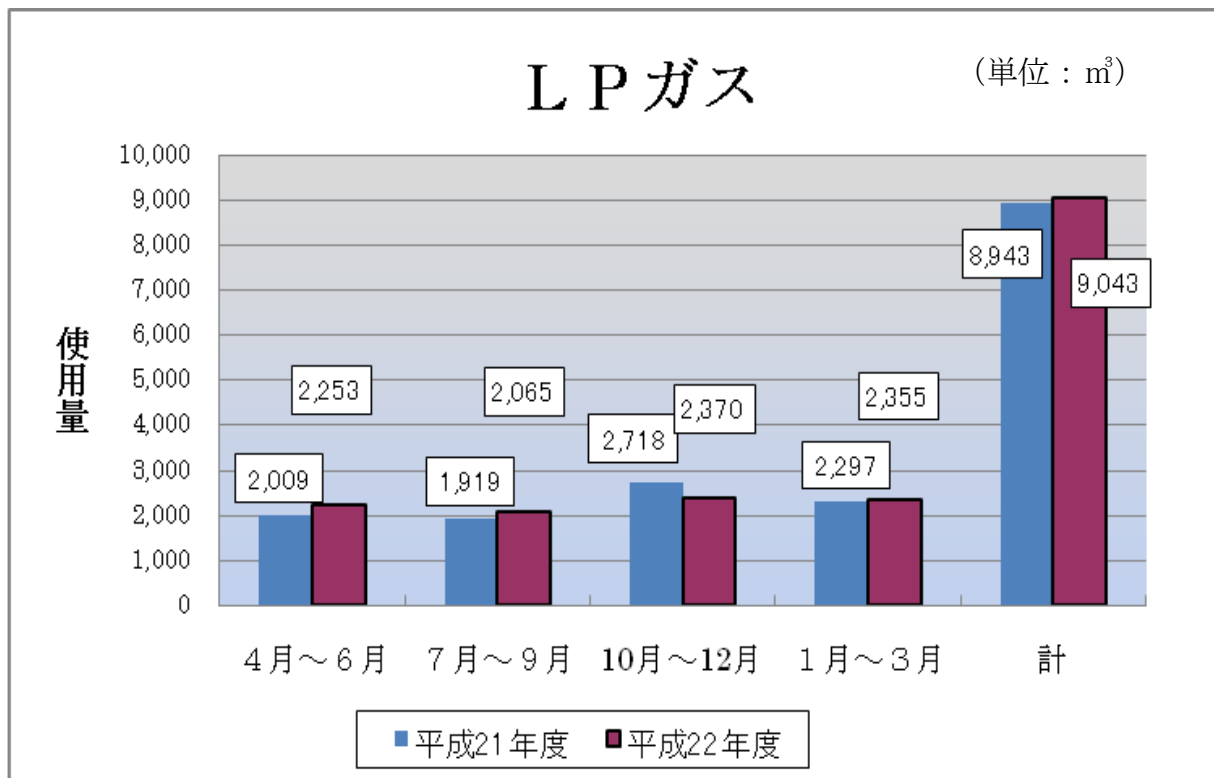
	施設	前年度比	全体割合	灯油使用の内容など
増	文化課	12.7%	20.7%	前年度の改修による使用減から、今年度施設を全使用したための暖房等の使用量の増
減	消防 保安施設課	△27.7%	8.5%	室内温度の徹底管理、職員の節約意識の向上。

○ 使用量の大きい施設

	施設	前年度比	全体割合	灯油使用の内容など
1	環境課	9.0%	25.0%	火葬件数の増による斎場の利用の増加 (H21：475件 H22：589件)
2	清養園 クリーンセンター	△7.9%	21.8%	「余熱の湯」補助燃料(灯油)の使用減 (参考・利用者 H21：27,255人 H22：28,129)
3	文化課	12.7%	20.7%	前年度の改修による使用減から、今年度施設を全使用したための暖房等の使用量の増
4	消防保安施設課	△27.7%	8.5%	室内温度の徹底管理、職員の節約意識の向上。
5	管理情報課	△14.7%	3.6%	こまめな暖房設備の停止により、減少した

④ LPガスの使用量

前年度比：1.1%増



○ 前年度比で増減率の高い施設

	施設	前年度比	全体割合	LPガス使用の内容など
増	地域生活課	76.9%	1.3%	保養センター集会室利用者の増による
減	保安施設課	△17.5%	3.8%	宿直時などの湯の使用量の節約

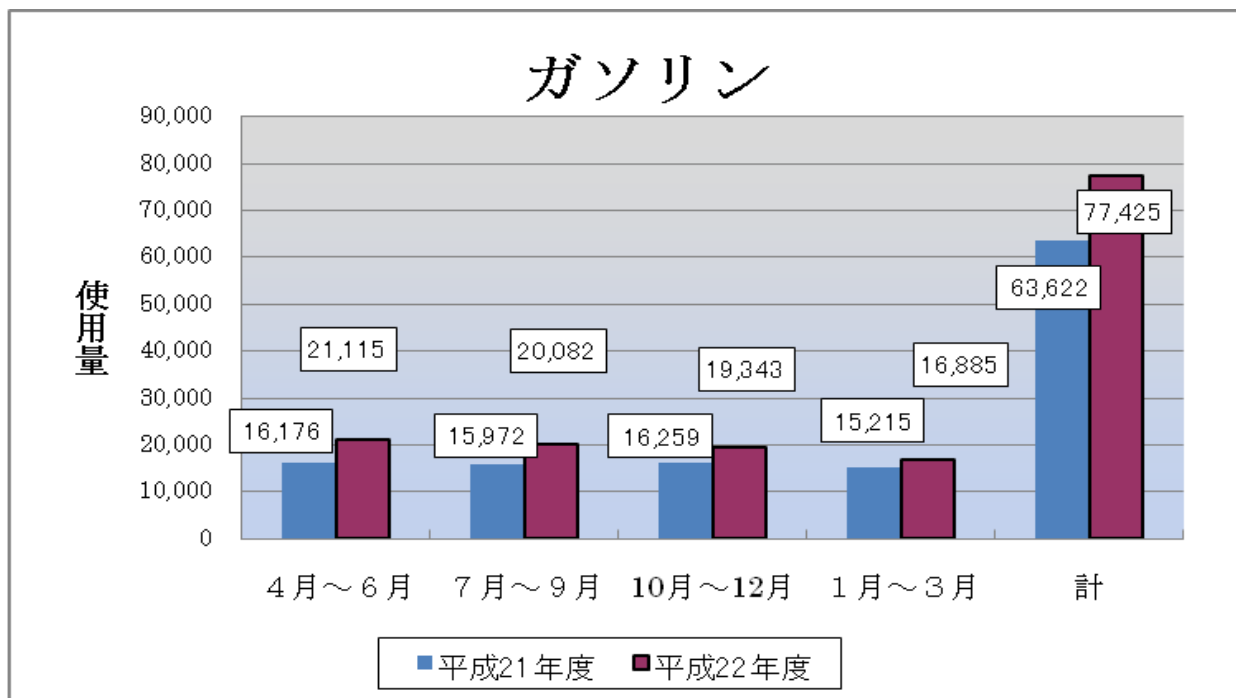
○ 使用料の高い施設

	施設	前年度比	全体割合	LPガス使用の内容など
1	宮守給食センター	△0.4%	47.9%	前年とほぼ同程度。
2	福祉課	5.5%	15.6%	震災時に福祉の里施設を提供したことによる増
3	下水道	2.5%	14.0%	震災時、浄化センターが緊急避難所となったため

⑤ 公用車燃料(ガソリン)の使用量

前年度比：19.5% 増

(単位：ℓ)



○ 前年度比で増減率の高い施設

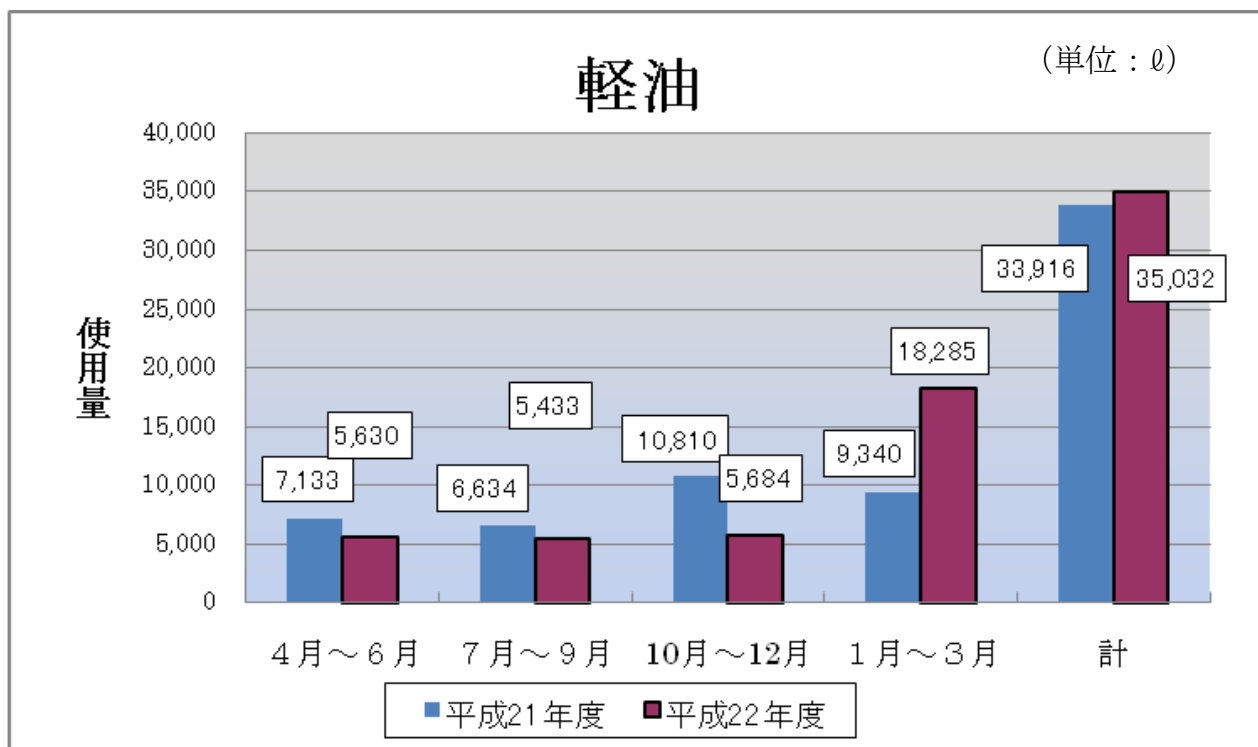
	施設	前年度比	全体割合	ガソリン使用の内容など
増	管理情報課	28.9%	33.9%	遠野物語発刊 100 周年等による公用車利用の増
減	税務課	△38.5%	0.9%	公用車利用の無駄を精査し効率的運用を図った

○ 使用量の高い施設

	施設	前年度比	全体割合	ガソリン使用の内容など
1	管理情報課	28.9%	33.9%	遠野物語発刊 100 周年等による公用車利用の増
2	健康長寿課	19.0%	10.0%	介護認定調査で家庭訪問回数の増
3	保安施設課	13.5%	8.0%	救急出動回数の増 (H21 : 913 件、H22 : 947 件)
4	水道事務所	32.5%	6.3%	水道利用増に伴う施設の点検・補修等の増加
5	建設課	14.4%	5.4%	災害による出動回数の増

⑥ 公用車燃料(軽油)の使用量

前年度比:3.3%増



○ 前年度比で増減率の高い施設

	施設	前年度比	全体割合	軽油使用の内容など
増	健康長寿課	1,639.0%	7.1%	除雪用機械に使用 (私用トラクタなど)
減	文化課	△88.7%	0.9%	公用車の経路見直しなどによる効率的運用

○ 使用量の高い施設

	施設	前年度比	全体割合	軽油使用の内容など
1	建設課	15.3%	40.2%	除雪回数の増加 (除雪費 H21: 1億1千万円、H22: 1億7千万円)
2	管理情報課	△1.4%	13.7%	軽油仕様車の減による
3	消防 保安施設課	89.7%	11.4%	救急出動件数の増加 H21 913件、H22 947件

(2) 取組状況について

ア、全庁対象

職員ポータルを通じて全職員に呼びかけを行ったほか、エコオフィス活動ポスターの庁内掲示、各課の推進員を通じて取り組みの徹底を周知し、職員一人ひとりの意識の向上及び各課等での取り組みの徹底を図りました。

イ、課ごとの取組み

また、各課等から取組状況調査票（様式1）や職員の取組状況（様式1-2）、活動量調査票（様式2-1、2-2、2-3）を四半期ごとに提出を受け、取組状況及び温室効果ガスの排出量等について取りまとめを行い、年間取りまとめの際、各エネルギーの前年度との比較を各課で行い、今後の取り組みへ向けての課題を探ってもらいました。

昨年度に引き続き、温暖化対策にむけての重点取組項目及びその他取組項目を設定して取り組みを行い、毎月各課等で実施状況の評価を行いました。

各課等で設定した重点取組項目は、「電気の適正使用」「ごみの減量」「公用車の適正使用」など全体で11項目、その他取組項目は「省エネルギーの推進」「省資源の推進」「廃棄物の削減とリサイクル」など全体で6項目でした。総じて、実施状況評価は「よく実施している」「概ね実施している」となりました。

3. 事務用紙購入量、水道使用量、可燃ごみ排出量について

(1) 実績値

年 度	事務用紙購入量(kg)	水道使用量(m ³)	可燃ごみ排出量(kg)
平成 20 年度 (前年度比)	17,485 (17.0%)	45,477 (△3.1%)	13,801 (△15.2%)
平成 21 年度 (前年度比)	17,319 (△0.9%)	44,636 (△1.8%)	10,834 (△21.5%)
平成 22 年度 (前年度比)	30,198 (74.4%)	48,460 (8.6%)	9,683 (△11.0%)

(2) 取組状況

平成 22 年度の事務用紙購入量、水道使用量は、平成 21 年度に対して増加しました。遠野物語発刊 100 周年記念事業等での増加及び東日本大震災に伴う活動（避難所の設置等）と考えられます。その中で、可燃ごみの排出量が 1 割以上減少したことは、職員一人ひとりがごみの分別に自覚を持って取り組んだ成果であると思われます。

4. 課題と今後の取り組み

(1) 課題

①使用エネルギーの削減について(直接的な温室効果ガス排出抑制)

平成 22 年度の温室効果ガス総排出量は、平成 15 年度と比較して 15.9%の減少となっていますが、平成 21 年度と比較すると 0.6%の増となっています。

同様に、平成 21 年度と比較し使用量が増加しているガソリン、軽油、灯油また温室効果ガス排出量全体に占める割合が大きい「電気使用量」の削減に向け、各課等ごとに平成 21 年度と平成 22 年度の活動量の比較検証の実施や遠野市地球温暖化対策実行計画による温室効果ガス排出量削減のための具体的取組内容を基に話し合いながら、それぞれ各課等に適した方法で取り組みを進めていくことも必要です。

施設稼働による使用量は、市民の生活環境・利用状況などとも密接に関係しており、使用量を減少するための取り組みについては難しい部分もあるため、適正な維持管理を行いながら新エネルギー・省エネルギー設備の導入・更新などを進めていくことが必要です。

②事務用紙購入量、水道使用量、可燃ごみ排出抑制について

(間接的な温室効果ガス排出抑制)

標記については、印刷やコピー前の原稿確認及び印刷機等の設定の徹底、紙資源ごみ用及びプラスチック製容器包装の収集箱を設置するなど、可燃ごみをできるだけ少なくするなど、各課においてもごみの分別を徹底していくことが必要です。

(2) 今後の取り組み

① 使用エネルギーの削減について(直接的な温室効果ガス排出抑制)

温室効果ガス排出量削減は、職員一人ひとりの意識が重要となります。

個々の機器の電源をこまめに落とす、資源の使用節減に努めるなど、小さなことから積み上げ進めなければなりません。計画の推進のため、推進員を通じて周知しながら、今後も職員ポータルへの掲示など取り組みを進めます。

今年度は、現「遠野市地球温暖化対策実行計画」(平成 19 年度から 4 年間)の最終年となります。

次期の計画では、平成 22 年度の実績値を基準として計画を策定することとします。

- ・照明の間引きや消灯
→普段直下に人がいないなどの場所において、室内灯を取り外す
- ・パソコンの省電力設定やこまめな電源切断
- ・クール及びウォームビズの徹底

② 事務用紙購入量、水道使用量、可燃ごみ排出量抑制について

(間接的な温室効果ガス排出抑制)

- ・事務用紙購入量の削減
→印刷やコピー前の原稿確認及び印刷機等の使用后リセットや設定確認の徹底

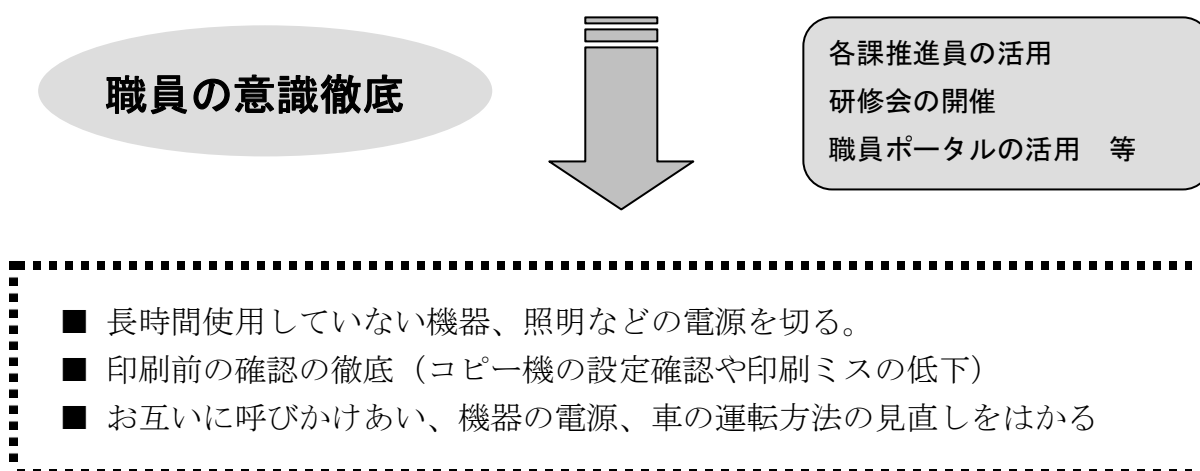
- ・水道使用量の削減
→節水の徹底
- ・可燃ごみ排出抑制
→紙資源ごみ用及びプラ容器包装収集箱を設置し資源(紙)ごみの分別の徹底
- ・通知、お知らせなどは職員ポータル及び町内メールを利用し、紙使用の節制

○新エネルギー・省エネルギー設備の導入

- ・備品、設備の導入時には進んで省エネルギー効果の高いものを導入する。

さらに、日常の事務・事業活動のなかの職員一人ひとりの自主的な取り組みとして、平成 22 年度に引き続き、温室効果ガス排出量状況の全体の占める割合が大きい「電気使用量」の削減に向け、取り組めます。

特に、温室効果ガス排出量削減のための取り組みとして、下記の項目の徹底を図ります。



(添付資料)

№. 1 遠野市地球温暖化対策実行計画推進組織図

資料No. 1 遠野市地球温暖化対策実行計画推進組織図

